

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		れいんぼう		職員 1 1 名		公表日		R 8 年 1 月 8 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		とてもしっかり見られていて、安心感があります。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		ていねいに見られている。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		各部屋に名称があり、子どもたちが分かり易く覚えやすい。室内がシンプルで視覚がうるさくないのがとてもいいです。	スケジュール、荷物やくつの置き場がはじめての利用でわかりやすいかな？ →靴のイラストを下駄箱の扉に貼り付け、わかりやすくします。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		清けつであたたかさもち心地よいです。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		必要に応じて机の向きをかえたりスケジュール提示して個別に応じられている。	→玄関近くのソファが個別対応できる場所になっていることを確認します。			
業 務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		よく共有されていて反省も共有されている。	月に 1 回ほどその子の方針について話し合ったり、全職員で共有する機会があると安心。 →非常勤職員さんが多いため、全職員ではなく、療育に関わる全ての職員さんが共有できるよう、モニタリングの方法を変更し、関わる職員の全員参加を目指します。また、職員研修には全職員が集うため、その時間の有効活用を図ります。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			保護者評価表を見て、改善にまで私自身がつけられていない。 →保護者評価表を真摯に受け止め、改善すべき事項に取り組む意識を持つよう心がけていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		その都度振り返りを共有できている。	→職員一人ひとりに聞き取りを行うよう努めます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		第三者（専門家）に療育を見てもらい参考に して取り入れている。	知りません。第三者による評価を見たことがないので、。。。。 →第三者評価は受けていません。今後受けることが課題です。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		受講の機会をよく教えて下さりありがたい。 (外部のものも内部のものも)				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		何をするかバラエティにとんで計画されている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		よく話をきいて保護者が心配されていることを取り上げられている。				

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			(私が主体的に関わればよいことなのですが) 検討には加わることをしておらず、すみません。 →モニタリング会議を行っている時に、次の支援目標について話していますが、関わっている全職員参加の会議ではないため、会議前に不参加の職員への聞き取り、会議後の報告を徹底します。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		されていると思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			どうということか読んでもよくわかりません。 →発達段階アセスメントシート (Ver7) を使用しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		丁寧にされていると思います。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	担当の方が立案している。	チームで行われているのかな？ →児発管、管理者が中心となり立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		とてもバラエティーにとんでいると思います。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		されていると思います。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		「○○くんにはここを伸ばしたい」「これをもう一度してみよう」など連携している。	連携のタイミング 打ち合わせができていません。 →療育スタート時に、毎回確認を行うよう心がけます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		気になったこと、保護者からの要望や他施設や家での様子などを共有。問題がある時はされている。	もう少し支援の振り返りをしっかりできる時間があれば良いと思います。 →勤務を効率化し、振り返りが行える時間を確保できるよう努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		丁寧にされている。	
関係機	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		おそらくされていると思います。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		おそらくされていると思います。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		おそらくされていると思います。	→子ども部会、子育て支援連絡会に参加し、近隣の関係機関と連携しているため、継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		おそらくされていると思います。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		おそらくされていると思います。	→みどり坂小学校には年に3回程度訪問し、話をする機会があるが、その他の小学校については、保護者さまの意向がない限り、情報共有は行っていません。
		(28～30は、センターのみ回答)			いつもいろんな子のことを気にかけていて力	

関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			になれないかなと考えられていると思います。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		おそらくされていると思います。	→地域の療育センターの研修に参加し、学ばせてもらっている。スーパーバイズを受けれる研修に参加し申し込んだが、外れてしまい残念でした。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	1		→今年度は、地域の幼稚園で行われた門松作り行事に、利用者さまと職員が一緒に参加する機会をいただきました。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		とてもされていると思います。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11		情報提供。とてもされていると思います。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		管理者・児発が主となり行っている。とてもされていると思います。おそらくされていると思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		管理者・児発が主となり行っている。おそらくされていると思います。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		管理者・児発が主となり行っている。おそらくされていると思います。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		毎回丁寧に相談に応じられていると思います。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		保護者の思いをつづるノートによる交流、季節のイベントで兄弟が参加。丁寧にされていると思います。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		丁寧にされていると思います。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		季節感や手作り感があり、とてもよくされています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	1	誰でも地域の人が参加できる会をされていると思います。	→今年度は、SST研修、ペアレントトレーニング研修において、どなたでも受講できるような設定にし、開かれた事業運営を心がけました。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		丁寧にされています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		丁寧にされています。	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		丁寧に行われています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		丁寧に行われています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		丁寧に行われています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			分かりません。 →今後相談室設置の保護者用ファイルに綴じ、周知に取り組みます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		丁寧に行われていると思います。	→ヒヤリハット報告書に記入、職員の閲覧、捺印を徹底しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		丁寧に行われていると思います。	未確認です。知りません。 →虐待防止についての研修は、受講後の研修報告で行っているのですが、未確認の職員がいたため、全ての職員に徹底できるよう努めています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		未確認です。知りません。立ち歩く時のことなど話し合わずその場の判断になっています（私が） →身体拘束について、支援計画に記載しています。身体拘束や立ち歩いているお子さんへの対応については、職員間で共通認識が持てるよう、話し合いを重ねています。